

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】

都道府県名	千葉県
-------	-----

I 学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	千葉県流山市立新川小学校								
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	1	13	20
児童数	41	71	68	63	67	61	7	371	

II 研究の概要と方法

1. 研究主題

<p>学力向上を図るための学習指導の在り方 — 算数少人数学習をとおして —</p>
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

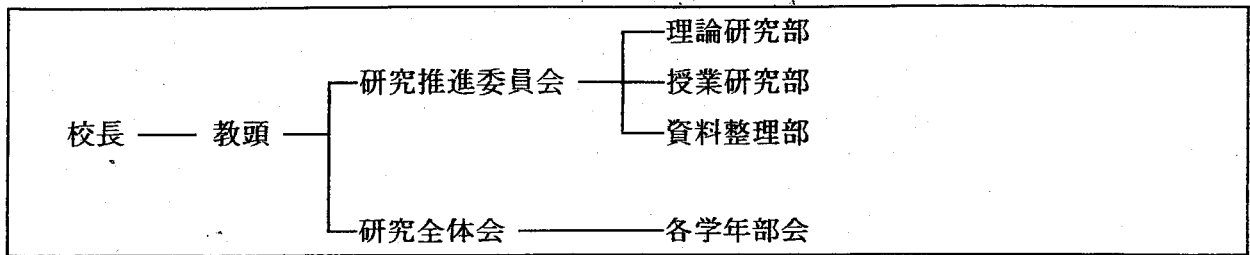
<p>・全学年・算数 算数は、個々の児童の学力差の大きくなる教科であるため。また、全校で取り組むことにより全職員が協力して研究に取り組めるため。</p>
--

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>○テーマ 「少人数学習の指導形態の確立をめざして」</p> <p>○研究の見通し（仮説） 新川小学校の実態に則した少人数学習の形態を確立し、実践すれば、個々の児童に対しきめ細かな指導ができ、学力の向上が図れるであろう。</p> <p>○研究の内容・方法 ・少人数学習の意義と目的について全教職員の共通理解を図る。 ・新川小学校の実態に則した少人数学習の形態を確立する。 ・保護者に対し少人数学習に関する啓蒙を図る。 ・少人数学習の理論化・実践を図り、実践記録をまとめ、成果や課題を明らかにする。</p>
--------	--

平成16年度	<p>○テーマ 「少人数学習と評価」</p> <p>○研究の見通し（仮説） ・少人数学習を実践する中で、評価方法を明らかにしていくことにより学力の定着が図れ、学力の向上の指導に効果が上がるであろう。</p> <p>○研究の内容・方法 ・少人数学習に対しての、児童の自己評価、教師による形成的評価、総括評価方法を追求する。</p>
--------	--

(3) 研究推進体制



Ⅲ 平成15年度の研究成果および今後の課題

1. 研究の成果

- ・ 昨年は少人数学習を全時間で取り組める体制にあったのは2つの学年だけであったが、本年度は少人数対策教員（2名）と担任外教員（2名）の配置で、全学年で取り組めるようになった。その結果、研究に対する共通理解も全校的にできるようになった。
- ・ 新川小学校としての少人数学習の形態（一学級二人制形態、習熟度形態、課題選択形態、単純少人数形態、複合形態、スタンプラリー形態、学年オープン形態）が確立できた。
- ・ 算数の年間指導計画の中に、少人数学習の指導計画を位置づけた。年度当初に学年で計画を立てたので、教材研究や学習準備も計画的に取り組めた。
- ・ 授業公開の結果、「習熟度形態におけるコースの違いがよく分からない」との意見が聞かれたので、習熟度形態をさらに細かく分けて4つにパターン化し、取り組んでいる習熟度別形態がどのパターンで展開されているかを明らかにした。
- ・ 本年度は、各学年とも単元の指導計画を詳しく立てて実践し、毎時間の指導内容を明らかにし、単元の開発を図った。
- ・ 少人数の取り組みにより、児童へきめ細かい指導ができるようになり、児童の算数への取り組みも積極的になってきた。このような児童の「わかった。」「できたからたのしい。」という子どもたちの声が保護者の意識を高め、少人数学習に対し、理解と積極的な期待を寄せるようになった。

2. 今後の課題

- ・ 習熟度別形態を取ると、同質の児童が集まるためか、考え方のバリエーションが乏しくなったり、授業に活気がなくなる傾向がある。そのため、各コースの実態に合い、児童の学習意欲を高めるような学習素材の工夫が必要と思われる。
- ・ 少人数学習の実施に伴い年間計画を立てたが、授業前の細かな打ち合わせが必要となるがそのための時間を確保することが難しい。
- ・ 少人数学習の成果である学力の向上を、教師の感覚でなく、数値に裏付けられた客観的なものとしての把握の仕方を考える必要がある。
- ・ 一部の学年で行っている評価（算数自己評価シート、算数科評価・支援シート）の内容、評価活用方法を全体で共通理解していく必要がある。
- ・ 個々に合ったきめ細かい学習を進めるためには、発展的な学習と補足的な学習内容を開発する必要がある。

IV 学力等把握のための学校としての取り組み。

- 少人数学習による単元の学習終了後、児童よりアンケートをとり、どのくらい理解できているかを把握した。
- ワークテストを実施し、期待得点と本校の平均点を比較し検討した。

V フロンティアスクールとして研究成果の普及

- ①H15. 6. 19 千葉県教育庁東葛飾地方出張所指導室訪問において、算数・数学部会提案。流山市北部地区の掌中学校の算数・数学部会の先生方に「本校の少人数学習の取り組み」について提案、説明をする。
- ②H15. 8. 25 新川小学校夏季研修会
- ・生活科・総合的な学習・算数少人数学習各学年実践発表会
 - ・講演「生活科・総合的な学習・算数少人数学習の研究を進めていくためのカリキュラムマネジメント」
- 講師 千葉大学教育学部教授 天笠 茂 氏
- ③H15. 11. 21 文部科学省「学力向上フロンティアスクール」指定授業公開
1年、3年、6年 少人数学習（習熟度別形態）授業公開

【新規・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの新規校

【学校規模】 6学級以下 7～12学級
13～18学級 19～24学級
25学級以上

【指導体制】 少人数指導 T. Tによる指導
一部教科担任性 その他

【研究教科】 国語 社会 算数 理科
生活 音楽 図画工作 家庭
体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無